

## 総合目録について

### (1) 総合目録への参加

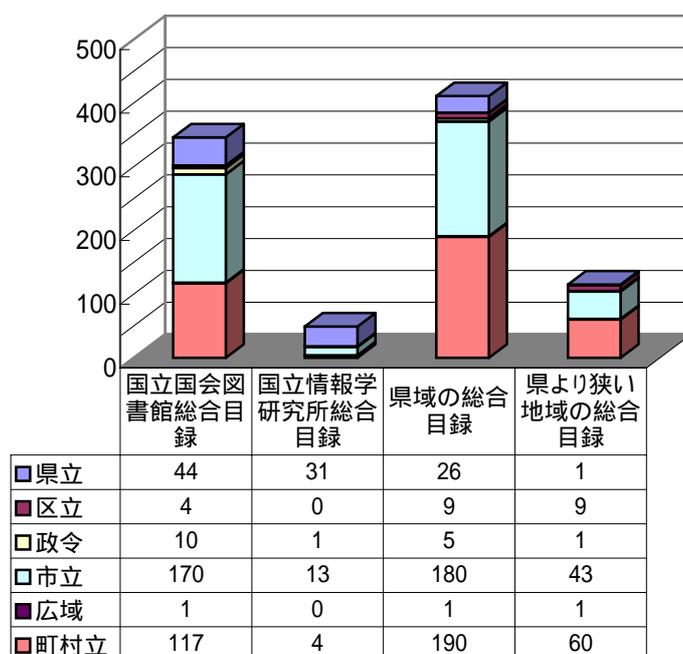
以下のような総合目録に参加（データ提供する、データ提供を受ける）  
していますか(複数回答可)

総合目録への参加の状況を尋ねた。全国的なネットワークでは、今まで都道府県・政令指定都市に限定していた参加館の範囲を市町村にまで拡大した国立国会図書館総合目録ネットワークには、回答のあった1660自治体中346自治体（20.8%）が参加していた。国立情報学研究所の総合目録は、都道府県立・政令指定都市図書館が接続していると思われ、市町村立図書館で参加していると記入したところはWebcat（総合目録データベースWWW検索サービス）の利用をもって、参加と記入したとも考えられる。県域の総合目録は411自治体（24.8%）、県域より狭い地域の総合目録は115自治体（6.9%）が参加していた。

ネットワーク上でのOPAC公開の増加にともなって、この設問では除外されている分散型の横断検索の提供が行われるようになってきている。今後ますます、さまざまな規模の多様な総合目録のサービスがインターネットで展開するものと思われる。

	計	県立	区立	政令	市立	広域	町村立
国立国会図書館の総合目録	346	44	4	10	170	1	117
国立情報学研究所の総合目録	49	31	0	1	13	0	4
県域の総合目録	411	26	9	5	180	1	190
地域の総合目録	115	1	9	1	43	1	60

総合目録への参加



## (2) 地域総合目録への参加機関

どのような機関が地域の総合目録に参加していますか(複数回答可)

地域の総合目録に参加していると記入した115自治体に、どのような機関が総合目録に参加しているか尋ねたところ、他自治体の図書館という回答がほとんど(106自治体)だった。自治体内の学校が参加しているという回答が21自治体、大学などが参加しているという回答が12自治体からあった。公共図書館と学校図書館との連携や資源共有のネットワーク化が各県で進められ、館種を超えた地域ネットワークも結ばれ始めているので、この動きは今後広がるものと予想される。しかし、今はまだ事例がそれほど多くない。博物館・美術館等や行政情報センター・議会図書館などとの総合目録もわずかであるが実施されている。

	計	県立	区立	政令	市立	広域	町村立
自治体内の学校など	21	1	0	0	4	0	16
大学など	12	1	0	1	6	0	4
他自治体の図書館など	106	1	9	0	38	1	57
博物館、美術館、資料館、文書館など	2	1	0	1	0	0	0
行政情報センター、議会図書館など	2	1	0	0	0	0	1
地域の総合目録に参加している	115	1	9	1	43	1	60

地域総合目録参加機関

